

その“なんとなく不調”、実はひとつの原因で説明できます。



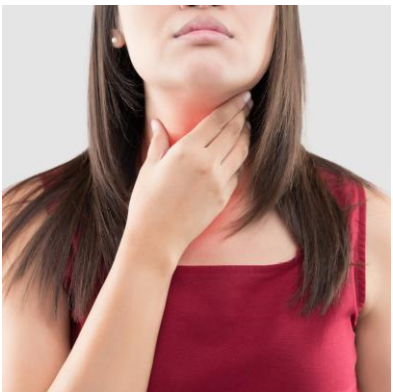
朝だるい、疲れが抜けない、肌荒れ、便通の乱れ…。

この“不調の連鎖”には

共通の原因＝体内の炎症があります。

そして、炎症が続く理由は

→ 免疫のブレーキ(制御性T細胞)が働いていない状態。



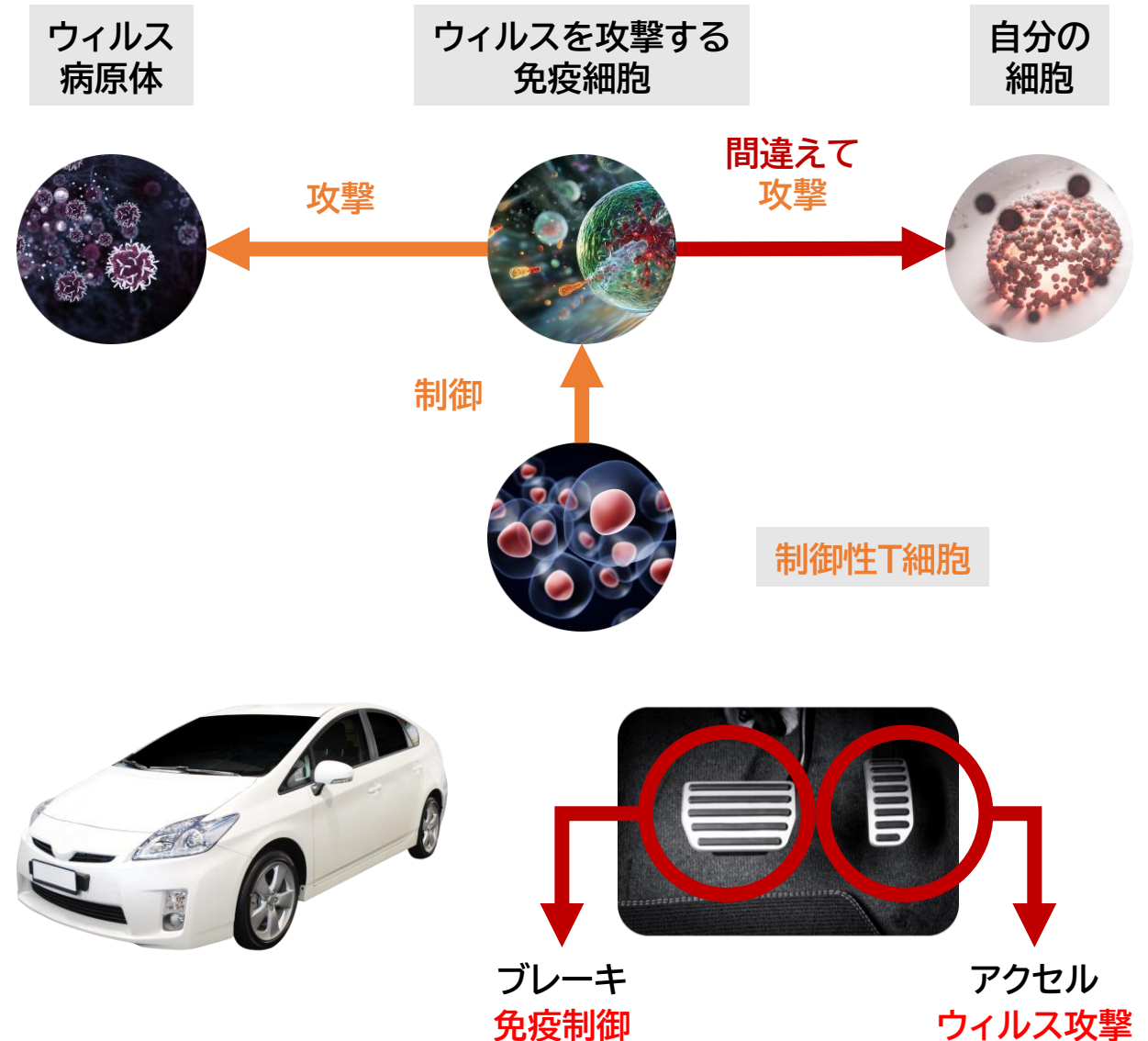
炎症が続く理由——免疫のブレーキ(Treg)が働いていないから。

免疫は本来「守る力」だが、
暴走すると全身に炎症が広がる

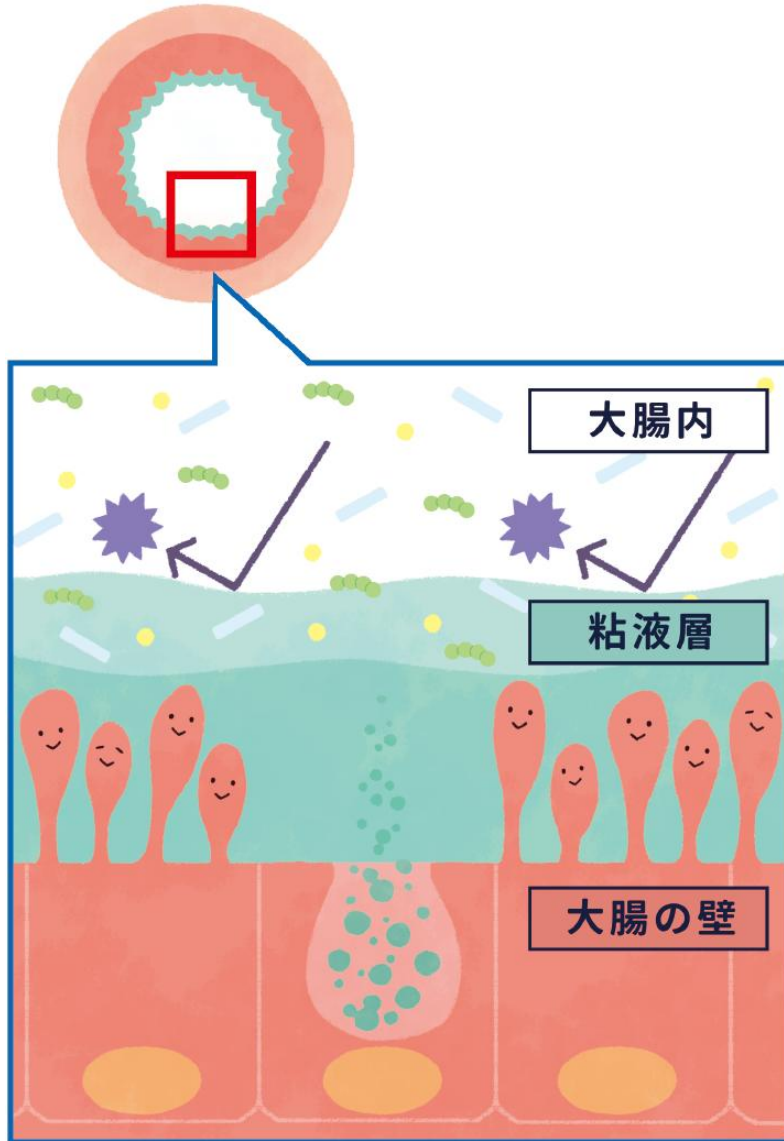
この暴走を止める唯一のブレーキが制御性T細胞

ノーベル賞研究でも注目された
“健康の中心”を握る細胞

制御性T細胞が弱る → 炎症が止まらない → 不調が続く
(疲労・肌荒れ・腸の乱れ・メンタルの揺れ)



酪酸は“免疫ブレーキを動かす燃料”。



制御性T細胞は 酪酸がないと動かない

酪酸は、腸の健康・免疫の安定・炎症制御の中心成分

粘液をつくる“材料”の60～80%が酪酸

酪酸不足は、外敵・炎症を防ぐ“粘液層”が薄い状態。

→ 疲れ・肌荒れ・便通の乱れ・アレルギー傾向が強まる。

短鎖脂肪酸(酪酸・酢酸・プロピオン酸)は、体の中でこう作られます。



酪酸

腸のエネルギー源となり
腸内環境を改善



酢酸

脂肪をエネルギーに変え
体型維持をサポート



プロピオン酸

血糖値を抑え
心臓と血管の健康を保つ

短鎖脂肪酸は 食物繊維を腸内細菌が発酵して誕生

3種類の短鎖脂肪酸

- 酪酸(制御性T細胞の燃料)
- 酢酸
- プロピオン酸

だが、現代人は…

- 食物繊維が圧倒的に足りない
- 酪酸菌が腸に定着しない
- 腸内環境が弱く発酵できない

→ 酪酸は“作られていない栄養素”になっている



現代人は“酪酸を自力で作れない”構造になっています。

酪酸は腸内細菌が食物繊維から作るが…

- 毎日 300gの食物繊維が必要(ほぼ不可能)
- 酪酸菌は腸に定着しにくい
- ストレス・加工食品で腸内環境が破壊されている

つまり 現代人は酪酸の“慢性欠乏”状態 にある。

- だから「何をしても不調が続く」人が増えている。



酪酸そのもの × 3種類の短鎖脂肪酸 × 80種類の野草酵素

多くの腸活に関する健康食品は「菌」か「食物繊維」

→ 酪酸が作られる保証がない

Raqsun+ は
酪酸・酢酸・プロピオン酸を“完成した形で”補給

腸の状態に左右されず、誰でも体の土台に届く

さらに 80種の野草酵素 が

- ✓ 血液の巡り
 - ✓ リンパの巡り
 - ✓ 自律神経のリズム
- をサポートし、体感の立ち上がりを高める

→ 朝の軽さ・肌の明るさ・お通じ・気分の安定

多くの人が“変化”を実感



酪酸エキス
RAQSUN+

